



やまぼうし

平成30年6月



こども園HP



社会福祉法人 市島福社会
認定こども園 いちじまこども園

〒669-4321
兵庫県丹波市市島町上垣138-1
(☎) 0795-85-2330
(fax) 0795-85-2335
<http://www.ichijima-kodomoen.com>



<教育・保育理念>
受容・信頼・貢献感

いきよう
ちからいっぱい
じぶんらしく
まっすぐに

【おすすめ】

- いつもそばに絵本がある環境
- 決まった時間に読み聞かせをする習慣
- 子どもの興味関心がある絵本
- 読んであげたいと思える絵本
- 絵が美しい絵本



「ももたろう」の絵本を読んだ数日後、「ちからたろう」を読むと…

子①…「ももたろうと、ちからたろうは
どっちが強いんやろ～？」

子②…「やっぱりももたろう、ちがう？」

「どっちが背高いんかな～？」と子ども同士で考えていました。

*子…子ども

つぶやき



児童憲章 一

すべての児童は、
心身ともに、健やかに
うまれ、育てられ、
その生活を保障される。

*児童憲章はすべての児童の幸福のため
一九五一年五月五日に制定されました。

まだ言葉が十分に理解できていない2歳児の子ども達でも、その時の興味関心にあった絵本を見るようにしてみると、だんだん絵本の面白さや楽しげがわかつてきて「絵本みようね！」という呼びかけに応じ、いそいそと集まります。また、絵本に出てくる「こどば」を覚え、普段の遊びや生活の中で使うようになっていきます。そして、「貸してね」「いいよ」「ありがとう」など、互いにもなり、絵本がきっかけとなって他の子どもと関わり合いながら遊びも豊かになっています。

ご家庭でも、親子、家族の触れ合いのひとときとして、絵本の読み聞かせの時間が毎日ありますよう願っています。きっと、温かい心や好奇心とともに、素敵な夢や希望が生まれ育ついくことでしょう。



いつもそばに絵本を

幼児期に絵本に接することは、本を身近に感じることの第一歩です。

絵本の読み聞かせで育まれた言葉の習得や読解力は、数学や科学の知識、思考力、問題解決力など、国語だけではなく全ての学力の基礎となると言われています。



この日の給食は豆ごはん。
食べる前にお豆の
絵本を読みました。



午睡前に絵本を読むことで
子どもたちが落ち着いて
布団に入ることができます。



給食や午睡の前など様々な場面で絵本の読み聞かせをしています